

【第1回 1977年11月12日(土)至誠館4番教室

- ・欧州経済共同体商事法の特色 岡本 善八(同志社大学法学部教授)
- ・京都商人の歴史的背景 安岡 重明(同志社大学商学部教授)

11月19日(土)至誠館4番教室

- ・社会事業の原点としての留岡幸助 住谷 馨(同志社大学文学部教授)
- ・労働福祉の重点課題 ―中・高年労働と老齢福祉への道― 中條 毅(同志社大学文学部教授)
- ・大西 祝の美学 金田 民夫(同志社大学文学部教授)

【第2回 1978年5月12日(金)神学館3階礼拝堂

- 《近代京都の政治と民衆》
- ・「町衆自治」の伝統とは何か 田中 真人(同志社大学人文研専任講師)
- ・明治期京都の政治俯瞰図 高久 嶺之介(同志社大学人文研専任講師)

【第3回 1978年10月24日(火)京都商工会議所講堂

- 《京都の伝統産業》
- ・京都の「老舗」の現状 松本 通晴(同志社大学文学部教授)

10月25日(水)京都商工会議所講堂

- ・京都和装産業の位置と課題 前川 恭一(同志社大学商学部教授)

【第4回 1979年5月12日(土)野村證券銀座支店ホール

- ・徳富蘇峰と同志社 杉井 六郎(同志社大学人文研教授)

【第5回 1979年10月20日(土)京都社会福祉会館4階

- ・丹波山国農兵隊 ―その思想と行動― 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第6回 1980年5月17日(土)穂高町中央公民館

- 《安曇野近代化の光源 ―井口喜源治と研成義塾―》
- ・和装の基督者 竹中 正夫(同志社大学神学部教授)
- ・研成義塾のひとびと 宮澤 正典(同志社女子大学助教授)

【第7回 1980年11月8日(土)京都社会福祉会館4階

- 《日本の家》
- ・明治の宮家皇族 高久 嶺之介(同志社大学人文研専任講師)
- ・京都商人の「家」の二類型 ―木村卯兵衛家と細田善兵衛家― 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第8回 1981年5月23日(土)岡山県総合福祉会館

- 《岡山県の生んだ社会福祉事業の先駆者 留岡幸助》
- ・社会事業の鬼才 守屋 茂(元龍谷大学教授)
- ・留岡幸助に学ぶもの 住谷 馨(同志社大学文学部教授)
- ・うすれゆく明治のエトス 杉井 六郎(同志社大学人文研教授)

【第9回 1981年10月31日(土)京都社会福祉会館4階

- ・町衆は「マチシュウ」か 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第10回 1982年5月22日(土)大阪証券会館

- 《日本の近代化と同志社》
- ・新島襄における近代科学と宗教 島尾 永康(同志社大学工学部教授)
- ・同志社と大阪 杉井 六郎(同志社大学人文研教授)

【第11回 1982年11月13日(土)ヤマハホール(東京銀座)

- ・縁起絵巻の世界 ―日本人の信仰に関連して― 笠井 昌昭(同志社大学文学部教授)
- ・財閥の家憲と華族の家憲 ―とくに財産管理について― 安岡 重明(同志社大学商学部教授)

【第12回 1983年5月25日(水)神学館3階礼拝堂

- ・憧憬と失望 ―欧米体験再考― 田中 真人(同志社大学人文研助教授)
- ・村人(もと)と町衆(ちょうしゅう) 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第13回 1983年11月12日(土)京都社会福祉会館

- 《京都の地場産業問題を考える》
- ・地場産業の類型と特質 笹田 友三郎(同志社大学経済学部教授)
- ・地場産業の生きる道 前川 恭一(同志社大学商学部教授)

【第14回 1984年5月16日(水)神学館3階礼拝堂

- ・日本ファシズムと農民 庄司 俊作(同志社大学人文研専任講師)
- ・大正期の皇室と朝鮮問題 高久 嶺之介(同志社大学人文研助教授)

【第15回 1984年10月27日(土)京都都会館会議場

- ・写真でみる京都の百年 田中 真人(同志社大学人文研助教授)

【第16回 1985年6月29日(土)滋賀会館中ホール

- 《近江の歴史文化講座》
- ・滋賀県の近代化と鉄道 藤田 貞一郎(同志社大学商学部教授)
- ・三井寺普賢堂地下張り文書 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第17回 1985年10月29日(火)至誠館4番教室



《南山城の歴史と文化》

- ・考古学からみた南山城 鈴木 重治(同志社大学校地学術調査主任)
- ・南山城と同志社 杉井 六郎(同志社大学人文研教授)

【第18回 1986年6月14日(土)田辺校地多目的ホール

- 《田辺町史の諸問題》
- ・近代の田辺 ―田辺町事務報告書を素材にして― 露口 卓也(同志社大学文学部助教授)
- ・タギとスミの争い ―田辺中世史の一齣 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第19回 1986年9月27日(土)八日市市中央公民館

- ・明治・大正期の八日市 高久 嶺之介(同志社大学人文研助教授)
- ・保内今堀郷研究余話 仲村 研(同志社大学人文研教授)

【第20回 1987年6月13日(土)山城町福祉センター

- 《山城町史を学ぶ特別講座》
- ・日本の近代教育と山城町 沖田 行司(同志社大学文学部助教授)
- ・近代のまちとむら ―『山城町史』編集にかかわって― 田中 真人(同志社大学人文研教授)

【第21回 1987年11月7日(土)神戸市勤労会館ホール

- 《神戸とキリスト教》
- ・明治初期神戸伝道とD.C.グリーン 茂 義樹(梅花短期大学教授)
- ・アッキンソンと『七一雑報』『旭光』 竹中 正夫(同志社大学神学部教授)

【第22回 1988年6月17日(金)神学館3階礼拝堂

- ・天皇の代替わりとキリスト教 ―1920年代後半のケースより― 土肥 昭夫(同志社大学神学部教授)
- ・天皇の代替わりと地域社会 ―京都府における『奉祝記念事業』の実相― 田中 真人(同志社大学人文研教授)

【第23回 1989年1月20日(金)至誠館3階会議室

- 《杉井六郎人文科学研究所教授退職記念》
- ・道遥かなり 杉井 六郎(同志社大学人文研教授)

【第24回 1989年6月30日(金)神学館3階礼拝堂

- 《キリスト教社会問題研究》
- ・ハワイ日本人とともに ―ある同志社人の軌跡 飯田 耕二郎(同志社女子中高教諭)
- ・西海岸の「ピルグリム・ファーザーズ」―シリアル穂高倶楽部の人びと― 宮澤 正典(同志社女子大学教授)

【第25回 1989年10月27日(金)至誠館3階会議室

- 《市場の成長と商品の変遷》
- ・京都(洛中)と伏見の酒の闘い ―市場の変容と技術革新― 石川 健次郎(同志社大学商学部教授)
- ・古き都に新しき産業 ―日本映画の青春時代― 庄林 二三雄(大阪国際大学教授)

【第26回 1990年6月13日(水)神学館3階礼拝堂

- 《新島襄永眠100周年記念》
- ・新島襄と山本覚馬 ―京都の近代化・同志社― 河野 仁昭(同志社史資料室長)

【第27回 1991年3月13日(水)神学館3階礼拝堂

- 《『山室軍平の研究』刊行記念》
- ・山室軍平の研究「班」の研究活動の経緯 室田 保夫(高野山大学助教授)
- ・山室軍平の青年時代 ―救世軍への助走― 本井 康博(同志社大学人文研研究協力者)
- ・救世軍と皇室 田中 真人(同志社大学人文研教授)

【第28回 1991年6月21日(金)至誠館3階会議室

- ・地球環境問題と私たちの暮らし ―一足元で行動しよう― 群嵐 孝(同志社大学経済学部教授)

【第29回 1991年11月14日(木)神学館3階礼拝堂

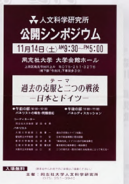
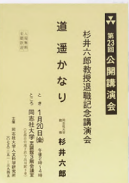
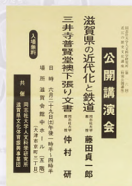
- 《日系カナダ人社会とキリスト教会》
- ・アジア系移民の社会変化 ―トロントの香港人― 森川 眞規雄(同志社大学文学部教授)
- ・カナダ日系社会における日本人キリスト教会の役割 佐々木 敏二(同志社大学文学部嘱託講師)

【第30回 1992年6月19日(金)頌真館2階視聴覚教室

- 《コロンブスとその時代》
- ・コロンブスと大西洋奴隷貿易 布留川 正博(同志社大学経済学部専任講師)
- ・大航海時代のスペイン 立石 博高(東京外大助教授)
- ※No.0 残りあり

【第31回 1992年11月14日(土)大学会館ホール

- 公開シンポジウム《過去の克服と二つの戦後 ―日本とドイツ―》
- ・過去の克服とドイツ知識人 三島 憲一(大阪大学教授)
- ・日本の戦後補償と歴史認識 田中 宏(愛知県立大学教授)
- ・「戦後社会」ドイツにおける戦後責任 広渡 清吾(東京大学教授)
- ・東京裁判と戦争責任・戦後責任 栗屋 憲太郎(立教大学教授)
- ・二つの現代史―歴史の新たな転換点に立って考える― 山口 定(大阪市立大学教授)
- コーディネーター 望田 幸男(同志社大学文学部教授)



※残なし

【第32回 1993年10月5日(火)12日(火)19日(火)27日(火)明徳館1番教室

《外国人労働者と地域社会》

- ・外国人労働者問題 馬場 浩也(同志社大学経済学部教授)
- ・外国人労働者受入と日本社会 宮島 喬(お茶の水女子大学教授)
- ・「多民族社会」への対応 森川 真規雄(同志社大学文学部教授)
- ・外国人労働者をめぐる法的諸問題 小島 典明(大阪大学助教授)

※No.1 残あり

【第33回 1994年6月18日(土)明徳館1番教室

《近代京都の転換点を考える》

- ・王政復古と京都の明治維新 佐々木 克(京都大学教授)
- ・3発目の原爆と京都 吉田 守男(樟蔭女子短期大学教授)

※残なし

【第34回 1994年10月29日(土)同志社礼拝堂(チャペル)

創立50周年記念シンポジウム

《自由の風土・在野の精神―近代日本における同志社と早稲田―》

- ・同志社の歴史から日本の近代をみる―同志社大学人文科学研究所の活動の特質― 竹中 正夫(同志社大学神学部教授)
- ・早稲田大学社会科学研究所の歴史と展望 中村 尚美(早稲田大学教授)
- ・キリスト教と「自由の精神」―大西 祝を中心に― 笠原 芳光(京都精華大学教授)
- ・「東西南明調和論」をめぐる大隈重信と浮田和民 間宮 國夫(早稲田大学教授)
- ・新島研究の新局面 本井 康博(同志社大学文学部嘱託講師)
- ・大隈重信研究の過去・現代・未来 佐藤 能丸(早稲田大学講師)
- コーディネーター 田中 真人(同志社大学人文研教授)

※No.2 残なし

【第35回 1995年6月12日(月)田辺校地多目的ホール

《外国人教師の目に映った百年前の同志社》

- ・同志社女学校婦人宣教師の場合 坂本 清音(同志社女子大学教授)
- ・アメリカン・ボード宣教師ラーネットの場合 本井 康博(同志社大学文学部嘱託講師)

※※No.3 残僅か

【第36回 1995年10月6日(金)明徳館2番教室

《日本企業とアジア》

- ・私の社歴と松下電器の海外事業展開 井上 俊治(アジア松下電器元社長)
- ・日本企業の対中進出の新局面 関 満博(専修大学商学部助教授)

※No.4 残あり

【第37回 1996年7月22日(月)新島会館

《異文化交流と近代化》

- ・蒸気船ショックの構造 園田 弘弘(国際日本文化研究センター教授)
- ・新島襄の異文化体験 沖田 行司(同志社大学文学部教授)

※残なし

【第38回 1996年11月9日(土)至誠館22番教室

公開シンポジウム《アジアの経済成長と日本経済のあり方》

[基調講演]

- ・東アジアの経済発展と日本の役割 森口 親司(大阪大学社会経済研究所長)

[パネルディスカッション]

パネリスト 石垣 健一(神戸大学経済経営研究所長)、吉田 和男(京都大学大学院経済学研究科教授)、高阪 章(大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)、松島 茂(通産省中小企業庁計画課長)

コーディネーター 篠原 総一(同志社大学経済学部教授)

※No.5 残あり

【第39回 1997年11月1日(土)神学館3階礼拝堂

《企業と女性―雇用平等のフロンティア―》

- ・拡がる女性たちのネットワーク―女性差別賃金をなくすために― 越堂 静子(「商社に働く女性の会」世話人)
- ・法廷からの提言 宮地 光子(弁護士)

※No.6 残あり

【第40回 1997年12月12日(金)神学館3階礼拝堂

《日本外交「不在」の起原を求めて―安保条約を再検討する―》

- ・パワー・ポリティクスと日本外交―安保条約を再検討する― 豊田 梢彦(立命館大学法学部教授)

※No.7 残僅か

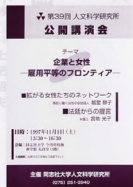
【第41回 1998年11月7日(土)明徳館1番教室

- ・京都産業の革新―21世紀に生きる道― 小堀 脩(京都商工会議所専務理事)

【第42回 1998年12月19日(土)至誠館2番教室

- ・日本人から日系人へ―21世紀の実験場ハワイ― 沖田 行司(同志社大学文学部教授)

※No.8 残僅か



【第43回 1999年11月5日(金)宮崎県高鍋町美術館多目的ホール

《『石井十次の研究』刊行記念講演会》

- ・福祉の創始者・石井十次―その事業と夢 室田 保夫(関西学院大学社会学部教授)
- ・石井十次―事業家として・キリスト者として 田中 真人(同志社大学人文研教授)

※No.9 残僅か

【第44回 1999年12月7日(火)至誠館4番教室

・香港というありかた―「植民地」から「国家を超えた社会」へ―

- 森川 真規雄(同志社大学文学部教授)

※No.10 残僅か

【第45回 2000年5月15日(月)22日(月)29日(月)6月5日(月)至誠館3番教室

《花洛の江戸時代》

- ・洛中洛外園の中の京都 水本 邦彦(京都府立大学文学部教授)
- ・京野菜の立売市場 宇佐美 英機(滋賀大学経済学部教授)
- ・幕末の京都―会津藩と一橋慶喜の登場― 家近 良樹(大阪経済大学教養部助教授)
- ・京の庶民にとって「御一新」とは何だったのか 井ヶ田 良治(同志社大学名誉教授)

※No.11 残僅か

【第46回 2000年10月16日(月)23日(月)30日(月)11月6日(月)至誠館3番教室

《『伝統の都』の近代》

- ・首都としての京都―公家社会の解体― 小林 丈広(京都市歴史資料館研究員)
- ・京都のイメージはどのようにつくられたか―平安文化論の成立― 高木 博志(京都大学人文科学研究所助教授)
- ・古都の開発―京都府知事北垣国道と琵琶湖疏水― 高久 嶺之介(同志社大学人文研教授)
- ・京都・鉄道・天皇制―三題斷 田中 真人(同志社大学人文研教授)

※No.12 残僅か

【第47回 2001年5月18日(金)明徳館1番教室

《日本最初の社会主義政党―社会民主党100年―》

- ・初期社会主義の一派源としての同志社 田中 真人(同志社大学人文研教授)
- ・社会民主党の歴史的意義 松尾 尊允(京都橘女子大学教授)

※No.13 残僅か

【第48回 2001年11月20日(火)田辺校地知真館1号館2階(TC1-222)

《ラテンアメリカの女性はいま―現代メキシコ女性の現状と主張―》

- ・女性社会を変えたか?―メキシコ女性の教育状況と政治参加― 松久 玲子(同志社大学言語文化教育研究センター助教授)
- ・先住民運動と「女性に関する革命法」 北條 ゆかり(滋賀大学経済学部助教授)

※No.14 残僅か

【第49回 2002年6月14日(金)至誠館4番教室

《『新島襄全集を読む』刊行記念講演会》

- ・新島襄を精読できる時代 伊藤 彌彦(同志社大学法学部教授)
- ・新島襄と病氣 宮澤 正典(同志社女子大学特任教授)

※No.15 残僅か

【第50回 2002年11月18日(月)至誠館4番教室

《尹東柱詩碑建立7周年記念講演会》

- ・朝鮮人留学生たちの京都 水野 直樹(京都大学人文科学研究所教授)

※No.16 残僅か

【第51回 2003年7月9日(水)明徳館1番教室

《日本産業の10年―1991～2000年》

- ・空白の10年―日本自動車産業に身を置く一企業人から見て 尾崎 清(マツダ(株)常務執行役員 財務・国内販売会社財務担当 財務本部長)
- ・「松下グループにおけるモノづくり革新の取組み」について 武本 義郎(松下電器産業(株) 生産革新本部 モノづくり革新センター所長)

※No.17 残僅か

【第52回 2004年2月20日(金)27日(金)3月5日(金)神学館3階礼拝堂

《明治の〈知〉と〈道義〉》

- ・近代京都の〈知〉のネットワーク―初めての京都の歴史書『平安通志』が書かれた頃― 小林 丈広(京都市歴史資料館主任歴史調査員)
- ・明治の地方富豪と道義 庄司 俊作(同志社大学人文研教授)
- ・勝海舟の日清戦争反対論 松浦 玲(著述業・元桃山学院大学教授)

※No.18 残あり

【第53回 2004年6月28日(月)7月5日(月)16日(金)同志社礼拝堂(チャペル)

《幕末から明治へ―時代を読み解く》

- ・新撰組と武州多摩の人びと―故郷に送られた近藤勇書簡を読む― 鶴巻 孝雄(東京成徳大学人文学部教授)
- ・第三代京都府知事北垣国道はどんな知事であったのか―北垣の日記から読み解く― 高久 嶺之介(同志社大学人文研教授)
- ・幕末史のなかの薩長同盟 高橋 秀直(京都大学大学院文学研究科助教授)

※No.19 残僅か

【第54回 2004年12月1日(水)6日(月)13日(月)至誠館



《京都の地域政治と鉄道》
・舞鶴への鉄道建設と京・阪・神 松下 孝昭(神戸女子大学助教授)
・北海道鉄道(函館鉄道)の設立と京都人脈 渡邊 恵一(鹿児島大学助教授)
・「チンチン電車」の栄光と苦闘—京都市への買収に至るまで—
田中 真人(同志社大学人文研教授)
※No.20 残僅か

【第55回 2005年7月9日(水)至誠館4番教室】
《ランドマーク商品の破壊力—商品史からのメッセージ—》
・ランドマーク商品のちから 石川 健次郎(同志社大学商学部教授)
・テーマパーク 鍛冶 博之(同志社大学商学研究科博士課程前期)
・ワープロ 小西 浩太(同志社大学商学研究科博士課程後期)
・冷凍食品 川満 直樹(阪南大学経済学部助教授)
・インスタントラーメン 木山 実(関西学院大学商学部助教授)
・ケータイ 瀬岡 誠(大阪学院大学国際学部教授)
※No.21 残僅か

【第56回 2005年11月26日(土)寒梅館203号室】
公開シンポジウム《京都商法をきく—新しいビジネスモデルを求めて—》
[基調報告]
・京都ブランドの現状と将来 林 廣茂(同志社大学ビジネス研究科教授)
[現場からの報告]
・がんばり過ぎない商い 一澤 信三郎(一澤帆布代表取締役社長)
・香りを通して歴史を学ぶ 畑 正高(香老舗松栄堂代表取締役)
[パネルディスカッション]
パネリスト 林 廣茂、畑 正高、一澤 信三郎、D・ヒュー・ウィットカー(同志社大学ビジネス研究科教授)
※No.22 残あり

【第57回 2006年7月1日(土)至誠館4番教室】
《近代京都の創造》
・明治期丹波・丹後への道—京都と宮津を結ぶ道はどのようにしてつくられていくか—
高久 嶺之介(同志社大学人文研教授)
・近代京都と豊臣秀吉 高木 博志(京都大学人文科学研究所助教授)
※No.23 残僅か

【第58回 2007年2月17日(土)神学館3階礼拝堂】
《中国における産業集積のダイナミズム》
・中国経済・製造業の競争力 篠原 総一(同志社大学経済学部教授)
・中国企業の経営戦略と産業集積—寧波における金型産業の集積を中心に—
松島 茂(法政大学経営学部教授)
※No.24 残あり

【第59回 2007年5月26日(土)至誠館地下1番教室】
《京都発 人形のすゝめ—四谷シモンとベルナール・フォコン》
・“神”になろうとした人形師—華麗なるシモン創世記— 岡林 洋(同志社大学文学部教授)
・ベルナール・フォコンに愛されたマネキンたち 藤井 秀雪(京都造形芸術大学教授)
※No.25 残あり

【第60回 2007年10月20日(土)至誠館3番教室】
《公的ガバナンスの動態に関する研究》
・ガバナンス論の現在 堀 雅晴(立命館大学法学部教授)
・コミュニティ・ガバナンスの展望 山本 啓(東北大学大学院情報科学研究科教授)
※No.26 残あり

【第61回 2007年12月1日(土)神学館3階礼拝堂】
《同志社大学とアーモスト大学との交流史》
・アーモスト大学と同志社大学の関係史序説 北垣 宗治(同志社大学名誉教授)
・コール学長とケーリ館長との往復書簡を通してみた両大学の関係
藤倉 皓一郎(同志社大学司法研究科特別客員教授)
※No.27 残僅か

【第62回 2008年7月19日(土)至誠館2番教室】
《押れた劇業、ランドマーク商品》
・黒船で、劇業で… 石川 健次郎(同志社大学商学部教授)
・複写機 上村 雅洋(和歌山大学経済学部教授)
・エレベーター 吉田 裕之(京都産業大学経営学部教授)
・自動販売機 水原 紹(大阪学院大学経営学部准教授)
・ファミコン 鍛冶 博之(同志社大学商学研究科博士課程後期)
・紙おむつ 天野 一(社団法人関西経済連合会産業部参事)
・ランドマーク商品の壁 川満 直樹(同志社大学商学部専任講師)
・コメント—若者にとってのランドマーク商品— 木山 実(関西学院大学商学部准教授)
・総括—企業者史学とランドマーク商品— 瀬岡 誠(大阪学院大学経営学部教授)
※No.28 残あり

【第63回 2008年11月2日(日)寒梅館6階大会議室】
German Colonialism in Comparative Perspective
比較の視座から問うドイツ植民地主義

Sebastian Conrad(Professor of History,the European University Institute)
※残なし

【第64回 2009年2月28日(土)神学館3階礼拝堂】
《大正デモクラシーと現代》
・大正期国民新聞の普選論—徳富蘇峰と馬場恒吾を中心に—
和田 守(大東文化大学法学部教授)
・大正デモクラシーと同志社—海老名弾正と「同志社アカデミズム」の形成—
西田 毅(同志社大学名誉教授)
※No.29 残僅か

【第65回 2009年7月16日(木)神学館礼3階拜堂】
《同志社のキャンパス・ライフをささえて》
・同志社精神と協同組合
—同志社生協設立50年発祥110年から学協同組合の歴史と同志社精神—
井上 史(同志社大学人文研嘱託研究員(社外)・同志社生協50年史編集委員会事務局)
・生協運動の可能性—1960年代の同志社生協— 及川 二郎(東京学芸大学准教授)
・大学生協の「婦人版」のナゾ 井上 英之(大阪音楽大学教授)
※No.30 残あり

【第66回 2009年10月15日(木)寧静館5階会議室】
・「金融危機とブルーデンス政策」 丸茂 俊彦(同志社大学商学部教授)
※No.31 残あり

【第67回 2009年12月19日(土)神学館3階礼拝堂】
《北米日本人移民のトランスナショナリズム》
・同志社とハワイ日系二世留学生
物部 ひろみ(同志社大学言語文化教育研究センター専任講師)
・1930年代におけるアメリカ二世留学事業と日本帝国主義
東 栄一郎(Associate Professor, University of Pennsylvania)
※No.32 残僅か

【第68回 2010年1月30日(土)寧静館5階会議室】
シンポジウム《日独近代社会における健康と身体—社会の科学化と大衆化の過程で—》
[基調講演]
・日本の漢方医が見た戦後ドイツの医療と社会
—非正統医療の国際交流から健康をめぐる日独比較医療史へ— 服部 伸(同志社大学文学部教授)
・日本陸軍と社会の近代化—1930年代における壮丁体位低下問題の虚像と実像—
高岡 裕之(関西学院大学文学部教授)
・世紀転換期のドイツ市民社会にみる“健全な”女性づくり—女給の問題化プロセスを探る—
水戸部 由枝(明治大学政治経済学部専任講師)
[パネルディスカッション]
※No.33 残あり

【第69回 2010年5月22日(土)同志社礼拝堂(チャペル)】
《Rakugoと落語—異文化理解と認知心理学の視点から—》
・落語のネタで語る認知心理学
佐藤 浩一(群馬大学大学院教育学研究科教授)
・落語をRakugoに—英語落語の挑戦— 落語家 桂 かい枝
[桂かい枝インタビュー]
・海外における英語落語の公演
※No.34 残あり

【第70回 2010年10月29日(金)クラーク記念館2階クラーク・チャペル】
《アメリカン・ボード創立二〇〇年》
・同志社とアメリカン・ボード—男性宣教師の働き— 本井 康博(同志社大学神学部教授)
・ウーマンズ・ボードと同志社女学校—女性宣教師の働き—
坂本 清音(同志社女子大学名誉教授)
※No.35 残僅か

【第71回 2010年11月20日(土)神学館3階礼拝堂】
《今どきの大学生は—当世書生気質—》
・学生生活実態調査に見る学生生活 名和 又介(同志社大学言語文化教育研究センター教授)
・現代の大学生と大学教育の支援課題
溝上 慎一(京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)
・現代学生の社会関心と政治意識—20年間の大学生調査をもとに—
片桐 新自(関西大学社会学部教授)
[パネルディスカッション]
※No.36 残あり

【第72回 2010年12月11日(土)神学館3階礼拝堂】
《同志社大学とアーモスト大学との交流史(続)》
・プリンプトン学長とケーリ館長との往復書簡を通してみた同志社・アーモスト両大学の関係
藤倉 皓一郎(東京大学名誉教授)
・知的・道徳的チャレンジとしてのアーモスト大学教育 北垣 宗治(同志社大学名誉教授)
※No.37 残僅か



【第73回 2011年7月2日(土)寒梅館203番教室

- 《日本生まれのランドマーク商品たち》
- ・【日本の奇跡】と社会の変容 石川 健次郎(同志社大学商学部教授)
 - ・自動炊飯器 岩見 憲一((公財)新産業創造研究機構技術アドバイザー)
 - ・カラオケ 鍛冶 博之(徳島文理大学短期大学部商科講師)
 - ・携帯音楽プレーヤー 水原 紹(大阪学院大学経営学部准教授)
 - ・カーナビ 天野 了一(関西学院大学都市創造研究センター客員研究員)
 - ・ランドマーク商品の海外展開 川満 直樹(同志社大学商学部専任講師)
 - ・ランドマーク商品研究と企業者史 瀬岡 誠(大阪学院大学経営学部教授)
- ※No.38 残あり

【第74回 2011年11月16日(水)至誠館3番教室

- 《グローバル競争枠組みの変化と日本企業の対応―鉄鋼業・建設業からみる事業システムの進化―》
- ・調達構造の変化と事業システム―資源問題と鉄鋼業の今後について― 藤井 善英(JFEスチール株式会社 専務執行役員)
 - ・転換する競争環境と事業システム 小国 恭範(飛鳥建設株式会社 上席執行役員専務)
- ※No.39 残あり

【第75回 2011年12月2日(金)臨光館201番教室

- 《アメリカ日系二世と越境教育》
- ・日系二世の日本留学と県人ネットワーク―熊本海外協会の事例を考察する― 物部 ひろみ(同志社大学言語文化教育研究センター准教授)
 - ・アメリカ日系二世のアメリカ化と越境教育―カリフォルニア州ターミナル島の日本人移民と郷里和歌山― 吉田 亮(同志社大学社会学部教授)
- ※No.40 残僅か

【第76回 2012年2月18日(土)寧静館5階会議室

- 国際シンポジウム《植民地支配責任を考える―歴史と法のあいだ―》
- 第1部 東アジアの経験
- ・韓日、植民地支配責任を問う 金 昌禄(慶北大学校法科大学教授)
- コメンテーター 金 富子(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)、中野 敏男(東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)
- 第2部 ヨーロッパとその旧植民地の経験
- ・世界史の中の植民地支配責任 永原 陽子(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授)
- コメンテーター 梁 鉉娥(ソウル大学校法学専門大学院副教授)、庵澄 由香(立命館大学文学部准教授)
- 第3部 総合討論
- 司会:板垣 竜太(同志社大学社会学部准教授)、尹 京順(戦争と女性人権センター所長)
- ※No.41 残僅か

【第77回 2012年9月22日(土)明徳館1番教室

- 《戦後日本における行動する知識人―私たちが何を学ぶことができるか―》
- ・鶴見俊輔と思想の科学研究会 安田 常雄(神奈川大学法学部特任教授)
 - ・恒藤恭と平和問題談話会―時代の傍観を拒否した法哲学者― 広川 禎秀(大阪市立大学名誉教授)
 - ・湯川英樹と坂田昌一―原子力問題をめぐって― 出原 政雄(同志社大学法学部教授)
- ※No.42 残僅か

【第78回 2012年11月23日(金)25日(日)寒梅館6階大会議室

- 国際シンポジウム《過去の記憶の場としての近代》
- 第1部 過去の記憶の場としての遺跡
- ・ファシズム期における古代ローマのイメージ Paolo Carafa(Professor,University of Rome)
 - ・アクロポリス―近代ギリシアの象徴と記憶― 中井 義明(同志社大学文学部教授)
 - ・古代国家形成期の遺跡と現代日本 若林 邦彦(同志社大学歴史資料館准教授)
- 第2部 近過去としての近世の記憶
- ・17～18世紀フランスにおける考古学と海軍史 Pierrick Pourchasse(Associate Professor,University of Brest)
 - ・近世におけるカイロとその記憶 堀井 優(同志社大学文学部准教授)
- 第3部 古代ローマ都市の歴史像
- ・ローマ支配期カルタゴ周辺地域におけるポエニ期カルタゴの記憶と文化―カルタゴとトゥッガを中心に― 井福 剛(同志社大学文学研究科博士課程後期)
 - ・古代ローマ都市レプティス・マグナー―ふたつの転換点― 青木 真兵(神戸山手大学非常勤講師)
 - ・古代ローマの中核部で何が生じていたのか―帝政期フォロの景観変化― Fabio Cavallero(University of Rome)
- ※No.43 残僅か

【第79回 2013年1月24日(木)志高館118番教室

- ・「金融危機と日本経済」 植田 宏文(同志社大学商学部教授)
- ※No.44 残あり

【第80回 2013年2月23日(土)明徳館1番教室

- 国際シンポジウム《カリマンタン／ボルネオにおけるアブラヤシ農園拡大とその影響―生産システ

ム・地域社会・熱帯林保護―》

- ・アブラヤシ生産システムの変容が意味するもの―西カリマンタン州の事例から― 林田 秀樹(同志社大学人文研准教授)
 - ・商業作物中心の経済は何をもたらしたか―西カリマンタンの地域社会の経験から― 加藤 剛(総合地球環境学研究所客員教授・京都大学名誉教授)
 - ・開発vs.保護―カリマンタン／ボルネオ中心部におけるアブラヤシ農園問題の再検討― Herman Hidayat(インドネシア科学院社会文化研究センター上席研究員)
 - 通訳・まとめ 和田 喜彦(同志社大学経済学部教授)
- 【コメント】 永田 淳嗣(東京大学大学院総合文化研究科准教授)
- ※No.45 残僅か

【第81回 2013年4月6日(土)神学館3階礼拝堂

- 《大学はこうしてつくられる―高等教育の社会史―》
- ・歴史にみる大学バブル 竹内 洋(関西大学東京センター長、関西大学・京都大学名誉教授)
 - ・医科大学設置とははじめ―京都府と同志社・帝大― 田中 智子(同志社大学人文研助教)
- ※No.46 残なし

【第82回 2014年6月27日(金)28日(土)良心館305番教室

- 《Power in Contemporary Japan》
- [Part1.Learning and Thinking about Power]
- Chair and Discussant: Masahiro Yamada
- ・Striving for Power and Power's Striving Christina Tarnopolsky
 - ・Six Year Olds and Abenomics: What Do Children Know about Politics? Gill Steel
 - ・Political Socialization in Universities Katherine Teghtmeyer Pak
- [Part2.Power over and in the Family] Chair and Discussant: Maie Thorsten
- ・Power over Family Policy Hiroko Takeda
 - ・Negotiating Technology Use in Families Mito Akiyoshi
 - ・Who Does the Dishes? Fairness and Household Chores Mayumi Nakamura
- [Part3.Power in the Workplace and in Society]
- Chair and Discussant: Yoshitaka Nishizawa
- ・Power in Hierarchical Social Networks in Japanese/Asian Context: A Survey Approach Ken'ichi Ikeda with collaboration of Keisuke Takemoto
 - ・Access to Power through Aisatsu.an Ethnography of a Speech Act at a Kyojukai Gregory Poole
 - ・Global Opportunities, Ethnic Resources and Transnational Strategies: Newcomer Immigrants' Economic Practices in Japan Gracia Liu-Farrer
- [Part4.Political Power] Chair and Discussant: Ken'ichi Ikeda
- ・Power and Postwar Policymaking: the More Things Change Gregory W. Noble
 - ・Holding on to Power: Politicians and Re-election Masahiko Asano
 - ・Nonstandard Routes to Power. the Contribution of Politicians' Spouses Dyron K.Dabney
- ※No.47 残僅か

【第83回 2014年11月8日(土)クラーク記念館2階クラーク・チャペル

- 《市民化する住民、開発と公害を生きる》
- ・市民主義再考 藤井 祐介(大谷大学非常勤講師)
 - ・エネルギー革命と地域開発 小堀 聡(名古屋大学大学院経済学研究科准教授)
 - ・京都の市電をまわる会、回顧と展望―歴史文化都市京都には路面電車がよく似合う― 広原 盛明(京都府立大学元学長)
 - ・ディスカッション 司会:井上 史(同志社大学人文研嘱託研究員(社外))
- ※No.48 残あり

【第84回 2015年1月11日(日)良心館305番教室

- 《戦後日本思想と東アジア―知識人と民衆―》
- ・竹内好の「アジア」「中国」そして「日本」 萩原 稔(大東文化大学准教授)
 - ・丸山眞男の方法と中国思想の省察 區 建英(新潟国際情報大学教授)
 - ・農村青年・大川竹雄の戦前と戦後 南 相虎(京畿大学校教授)
- ※No.49 残僅か

【第85回 2015年1月31日(土)良心館305番教室

- 《都市を占拠する―闇市・バラック街から見た都市空間の「戦後」―》
- ・都市の伝統的な基層としての闇市 初田 香成(東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教)
 - ・都市の自生的集落としてのバラック街 本岡 拓哉(同志社大学人文研助教)
 - ・コメント 佐賀 朝(大阪市立大学大学院文学研究科教授)
 - ・質疑応答 司会:田中 智子(同志社大学人文研助教)
- ※No.50 残僅か

【第86回 2015年11月21日(土)志高館110番教室

- 《歴史と記憶の形成》
- ・ペルシア戦争の記憶 中井 義明(同志社大学文学部教授)
 - ・アウグストゥスとローマ創建の記憶 マリア・テレサ・ダレシオ(ローマ・サピエンツァ大学准教授)、通訳 坂井 聡(同志社大学文学部嘱託講師)
 - ・フランスの都市計画と有形文化遺産保存 中山 俊(同志社大学文学部嘱託講師)



・質疑応答 司会:服部 伸(同志社大学文学部教授)
※No.51 残り

【第87回 2015年12月15日(火)良心館305番教室

《沖縄と村から見る戦後の日本》
・沖縄の基地と女性—金武山訴訟を中心に—
桐山 節子(同志社大学グローバル・スタディーズ研究科博士課程後期課程)
・村の教師と村づくり—1950年代の東井義雄と加藤敬一郎の足跡を中心に—
櫻井 重康(同志社大学人文研嘱託研究員(社外))
・質疑応答 司会:庄司 俊作(同志社大学人文研教授)
※No.52 残り

【第88回 2016年1月23日(土)明徳館1番教室

シンポジウム《インドネシア・リアウ州のアブラヤシと煙害—グローバル化が促す農園企業・小農の行動とその帰結—》
・インドネシア・リアウ州のアブラヤシ産業の構造変化
永田 淳嗣(東京大学大学院総合文化研究科准教授)
・宇宙からリアウ州の泥炭湿地開発の現場を捉える:森林伐採と火災の衛星モニタリング
渡辺 一生(総合地球環境学研究所研究員)
・リアウ、泥炭湿地帯の村落社会:小農の生計活動と土地利用の変容
増田 和也(高知大学農学部准教授)
・コメント 加藤 剛(京都大学名誉教授)
・コメント・討論 林田 秀樹(同志社大学人文研准教授)
※No.53 残り

【第89回 2016年10月9日(日)寒梅館1階ハーディーホール(大ホール)

《香りと音楽》
・香りと音楽—「音と匂いの融合」(sonolfactif)芸術の発明—
シャンタル・ジャケ(Chantal JAQUET)(パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ教授)
通訳 岩崎 陽子(京都嵯峨芸術大学短期大学部専任講師)
※No.54 残り

【第90回 2017年11月27日(月)志高館112番教室

《ギリシア・ローマ史における歴史学と考古学—歴史像の構築とその方法—》
・ラケダイモン人の墓—ある戦後の記憶— 中井 義明(同志社大学文学部教授)
・現在のイタリアにおけるギリシャ・ローマ(古典)考古学—古代の遺跡と景観の統合および叙述—
パオロ・カラファ(ローマ大学サピエンツァ教授)
・考古学と文献—古代ローマの場合—
マリアテレーサ・ダレーシオ(ローマ大学サピエンツァ准教授)
通訳 坂井 聡(同志社大学文学部嘱託講師)
・質疑応答 司会:中井 義明(同志社大学文学部教授)
※No.57 残り

【第91回 2018年4月21日(土)良心館305番教室

・ベラスケス絵画とスペイン黄金時代美術の形成—ハプスブルク家、ティツィアーノ、ルーベンスを手掛かりに— 川村 やよい(オビエド大学美術歴史准教授)
・コメント、質疑応答 清瀬 みさを(同志社大学文学部教授)
※No.60 残り

【第92回 2019年1月12日(土)良心館102番教室

《ASEAN-日本間の利害関係と東アジアの将来—資源・一次産品・領有権の視点から—》
[基調講演]
・ASEANは生き残れるか:分裂を誘う経済統合、南シナ海、人権問題 寺田 貴(同志社大学法学部教授)
[パネル報告]
・資源をめぐる日本—東南アジア関係の今昔 林田 秀樹(同志社大学人文研准教授)
・日本と中国、ASEANの経済関係 巖 善平(同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授)
・日中の広域ビジョンと対東南アジア援助 大岩 隆明(山口大学経済学部教授)
・コメント 西口 清勝(立命館大学名誉教授)
・全体討論
※No.62 残り

【第93回 2019年1月24日(木)良心館305番教室

《戦後日本の地方を生きる》
・「山陰の山びこ学校」と加藤敬一郎—コミュニティを変えた教育者の思想と足跡
櫻井 重康(同志社大学人文研嘱託研究員(社外))
・戦後の保守と園部町長 野中広務 庄司 俊作(同志社大学名誉教授)
※No.63 残り

【第94回 2019年10月8日(火)同志社礼拝堂(チャペル)

《キリスト教信仰に基づく女性支援の歴史—かいた婦人の村の半世紀—》
・〈最も小さい者〉として、共に生きる志— かいた婦人の村の思想と実践—
林 葉子(同志社大学人文研助教)
・「共に生きる」ということ—『底点志向者イエス』に倣って—
天羽 道子(かいた婦人の村名誉村長)
・「居場所を奪われた女性たち」—暴力・性暴力の被害を受けて—
横田 千代子(婦人保護施設いずみ寮施設長、全国婦人保護施設等連絡協議会会長)

【コメント】

・若人の心に突きつけた同志社礼拝堂での説教—ジョージ・ミュラーと天羽道子さん—
木原 活信(同志社大学社会学部教授)
・「かいた婦人の村」とドイツ女性ディアコニー レギーネ ディート(同志社大学グローバル地域文化学部助教)
・全体討論
※No.64 残り

【第95回 2019年11月8日(金)良心館305番教室

《若年女性の政治参加》
・若手女性の政治参画—女性政治リーダートレーニングの試みから
申 瑛榮(お茶の水女子大学 准教授・(一社)パリティ・アカデミー共同代表)
コメント・女性と若者の政治参加—イギリスの事例から見えてくること—
武田 宏子(名古屋大学大学院法学研究科教授)
※No.65 残り

【第96回 2019年12月15日(日)良心館305番教室

《都市養蜂が描く持続可能な社会のデザインとは?》
・なぜ屋上養蜂は全国に広がったのか? 田中 淳夫(NPO法人銀座ミツバチプロジェクト理事長)
[パネルディスカッション]
・ミツバチに学ぶ、都市で自然を味わう喜び 古本 強(龍谷大学農学部教授)
・ミツバチが媒介する多様なコミュニティの創発と行動変容
浅井 俊子((一社)インパクトハブ京都代表理事)
・蜜蜂とひとの文化との関わり 佐藤 壮広(立教大学非常勤講師)
・ミツバチのくらしと人々の暮らしを考える。都市は持続可能なのか?
服部 篤子(同志社大学政策学部教授)
・保育園、幼稚園、小学校などに”蜂育”が広がることを期待しています。
今里 滋(同志社大学政策学部教授)
※No.66 残り

【第97回 2020年2月14日(金)寒梅館1階ハーディーホール(大ホール)

《京都が育んだ華道と茶道》
・京都が育んだ華道と茶文化 笹岡 隆甫(末生流笹岡三代家元)
[パネルディスカッション]
パネラー 笹岡 隆甫、森 恭彦(読売新聞大阪本社編集委員)、太田 達(有斐斎弘道館理事)
司会:佐伯 順子(同志社大学社会学部教授)
※No.68 残り

【第98回 2020年8月29日(土)YouTubeLiveによるライブ配信

《生き続ける「源氏物語」よみがえる紫式部—令和時代の古典の楽しみ方—》
・源氏物語といけばな—源氏流いけばなの軌跡— 岩坪 健(同志社大学文学部教授)
・薫物から見る「源氏物語」—「うつほと」&「栄花」の間—
矢野 環(同志社大学名誉教授・埼玉大学名誉教授)
・小説によみがえる古典—小説「新・紫式部日記」はこうして生まれた— 夏山 かほる(作家)
[紹介]
・京都発!クラウド文化財アーカイブズの紹介
吉田 謙一(富士ゼロックス京都株式会社マーケティングサポート部文化推進CSVグループ長)
[パネルディスカッション]
パネラー 岩坪 健、矢野 環、夏山 かほる、竹田 正幸(九州大学大学院システム情報科学研究科教授)、吉田 謙一
司会:福田 智子(同志社大学文化情報学部教授)
※No.69 残り

【第99回 2021年6月13日(日)Zoomによるオンライン開催

《多文化な日常における防災—「いつも」と「もしも」をつなぐ》
第一部 趣旨説明・話題提供
・外国人コミュニティと災い—コロナ禍の八幡モスク
ラムザン・ミルザ(京都八幡モスク・イスラミックリサーチセンタージャパン)
・災害時における外国人の避難をめぐる課題
阪本 真由美(兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授)
・災害時の外国人のボランティアは積極的な防災になりうる
李仁子(東北大学大学院教育学研究科准教授)
・「外国人」とは誰か—日常の出会い・災害時の出会い
内田 晴子(世界人権問題研究センター登録研究員)
・日常と災害をつなぐために—各地の取り組み事例から
小山 真紀(岐阜大学流域圏科学研究センター准教授)
第二部 パネルディスカッション
司会:王柳蘭(同志社大学グローバル地域文化学部准教授)
※No.71

【第100回 2021年11月1日(月)

良心館305番教室での対面開催とZoomによるオンライン開催を併用(予定)

《日本企業とアジアの挑戦—コロナ後の復興に向けて—》
・日本企業の誇り—東南アジア・マレーシアでの経験から—
南部 邦男(株式会社ナバル・取締役会長)
・アジアのデジタル化—コロナ後を見据えて—
大泉 啓一郎(亜細亜大学アジア研究所教授)

